

九州運輸局メールマガジン

平成22年9月30日 第99号（発行日：毎週木曜日）

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局HPアドレス <http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（9月16日～9月29日掲載分）
 - 各種情報
 - 報道発表
 - お知らせ
 - おすすめ情報
- 2 現場レポート
- 3 国土交通省からのお知らせ情報

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（9月16日～9月29日掲載分）

各種情報

《九州のうんゆ》

・2010年6月号

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/pdf/22_6.pdf

《入札・契約情報》

・企画競争実施公示（9/16付け1件、9/27付け2件、9/28付け1件）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

・企画競争実施予定情報の公表について（9/21付け1件、9/27付け2件、9/28付け各1件）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_100928.pdf

- ・企画競争に係る実施結果の公表（ 9 / 1 6 付け）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/100921.pdf

- ・入札結果の公表（ 7 月分、 8 月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/nyusatsu_kekka/1007.pdf

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/nyusatsu_kekka/1008.pdf

- ・契約結果に係る情報の公表（ 6 月分、 7 月分、 8 月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/keiyaku_kekka/1006k.pdf

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/keiyaku_kekka/1007k.pdf

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/keiyaku_kekka/1008k.pdf

報道発表

- ・物流って？福岡大学で「物流関係特別講座」を開催！

～小売業・卸売業・物流業界から講師を招き 1 2 講義を開設～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0917-buturyu.pdf>

- ・野球を通じた台湾と九州の交流促進を図るため台湾メディア及び中華民国棒球協會の招請を実施します。

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0921-kokusai.pdf>

- ・台湾教育旅行関係者のファムトリップを実施します！

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2010-1550-43.pdf>

お知らせ

- ・平成 2 2 年度整備管理者選任前研修の開催日程について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2010-0916-hoankankyo.pdf>

- ・整備主任者法令研修に使用する研修資料の取扱い変更について

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_g/file02.htm

- ・平成 2 3 年度におけるビジット・ジャパン（V J）地方連携事業において国との連携を希望する事業の提案募集について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2010-0924-kokusai.pdf>

おすすめ情報

・ 8月12日付けで「かごしま・ひらかわ海の駅」が新規登録されました。

http://www.umi-eki.jp/uminoeki/kagoshima_hirakawa.html

2 現場レポート

地域公共交通活性化・再生シンポジウム in 九州を開催

九州運輸局では9月17日（金）、福岡市内において、「地域公共交通活性化・再生シンポジウム in 九州」を開催しました。

地域の公共交通は、地域の経済社会活動の基盤として大きな役割を担っており、高齢者・通学者等の移動手段の確保を担うものとして、また、環境に優しい輸送機関として、その重要性はますます高まっています。

地域公共交通の活性化・再生を図るためには、関係者が一体となって、その地域にとって最適なあり方を検討し、取組み、支えていく必要があります。

このため、地域公共交通の活性化・再生について、国による取組みの紹介の他、九州内外の地域公共交通活性化・再生に向けた様々な先進的取組みや、その考え方について情報発信・共有することにより、多くの地域で、地域の多様な関係者が支え、その地域にふさわしい地域公共交通の構築に向けた取組みを促進することを目的として、シンポジウムを開催したものです。

昨年に続き、今回で2回目となりましたが、前回は上回る約240名のご参加をいただきました。

当日のプログラムは以下のとおりです。

基調講演

～平成22年度地域公共交通活性化・再生優良団体大臣表彰受賞記念講演～
「菊池市の交通体系の構築について」

笹本 聖一 氏（熊本県菊池市企画部企画振興課参事）

国の施策の動きについて

「交通基本法と今後の地域公共交通のあり方」

山口 勝弘（国土交通省総合政策局交通計画課長）

地域における取組事例の紹介

司会進行・アドバイザー：辰巳 浩 氏（福岡大学工学部社会デザイン工学科教授）

「唐津市における島づくり事業と離島航路活性化の取組み」

堀田 隆児 氏（佐賀県唐津市地域振興部地域支援課副主査）

「官民一体となったバス事業の取組み～当別コミュニティバス実証運行事業の概要～」

増輪 肇 氏（北海道石狩郡当別町企画部長）

「複数町村の連携による公共交通サービス改善の取組み」

山田 幸治 氏（愛知県地域振興部地域政策課山村振興室山村・過疎G主任主査）

尾崎 洋子 氏（愛知県北設楽郡設楽町企画課課長補佐）

今後は、当日の資料や議事概要につきまして、九州運輸局のホームページに掲載していく予定です。

シンポジウムの模様は、以下のURLからご覧になれます。

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_99_2.5.pdf

（企画観光部 交通企画課）

砕氷艦「しらせ」に歓喜の声

～海事産業次世代人材育成事業・“海の教室”開催～

秋晴れの平成22年9月19日（日）、九州運輸局では海上自衛隊佐世保地方総監部との共催で博多港箱崎ふ頭に接岸した“砕氷艦「しらせ」”に、箱崎小学校の生徒64名及び保護者67名、日本ボーイスカウト糟屋第10団員34名、合計165名を招待し、“海の教室”と船内見学を実施しました。

初めに、当局職員から、「海のはなし」と題し、日本への輸入の99%が船で運ばれることや、船の種類、CO2排出量、未来の船などについて、クイズを交えながら、子供から大人まで分かりやすく説明した後、「皆さんの中から、将来、船の設計士や船を動かす人などになりたいと思う人がたくさん出てくれたらうれし

いです。」とのコメントで締めくくりました。

その後、同地方総監部による“しらせ”のDVD上映があり、同船隊員から、「南極では空気が綺麗なので、コップにお湯を注いでも蒸気が見えない。」という説明に子供たちはびっくりしていました。船内見学では、「床屋さんがあるんだ」、「南極の氷があるよ」、「神棚があったあぁ」などの驚嘆が上がっていました。また、隊員から、「隊員同士で散髪する」とか「5ヶ月間は帰ってこれない」など説明を受けると、小学生や保護者から労いの言葉もありました。

当日は一般公開のため船内が混雑しましたが、無事“海の教室”を終えることができました。なお、一般公開の見学者数は、土・日の2日間で約6,700名だったとのことでした。

九州運輸局では、今後も、未来を担う小・中学生の子供たちに「海に関わる仕事をお届けします！」をスローガンに、さらなる広報活動を展開していきます。

【砕氷艦「しらせ」概要】

- ・ 文部科学省・国立極地研究所建造の南極観測船
- ・ 平成19年、ユニバーサル造船舞鶴事業所で起工
- ・ 平成21年5月就航、同年第51次南極観測から参加
- ・ 基準排水量12,650トン
- ・ 全長138m 出力30,000馬力
- ・ 巡航速力15ノット 乗組員179名 観測隊員等80名
- ・ 海上自衛隊横須賀地方総監部所属

当日の様子は、以下のURLからご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_99_1.pdf

(九州運輸局 海事産業次世代人材育成事業事務局)

福岡大学商学部で「物流関係特別講座」開講

～九州運輸局と福岡大学の連携により実現～

九州運輸局は、平成19年から福岡大学との連携により「物流人材発掘事業」に取り組んでおり、その間に物流関係の講義や関連施設の見学などを実施しました。

この事業では、3K職場として誤ったイメージが強い物流業界について正しい理解と認識を促し、「物流」の実態を紹介しながら重要性や役割を説明し、興味や関心を高めることにより物流業界が優秀な人材を確保できることを目的としています。

同大学では、本事業を発展させ、商学部のカリキュラムとして単位が取得できる「物流関係特別講座」を今年から開講することとなり、同講座のスタート日である9月21日に「国の政策からみた物流システム体系のありかた」と題する講義を当局物流課長が行いました。

九州運輸局では、今後も大学生に対し物流について正しい理解と認識を促し、興味をもつことで職業感を醸成し、物流業界や荷主企業での優秀な人材確保に繋げるよう努めてまいります。

福岡大学での講義の様子は、以下のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_99_3.pdf

(交通環境部 物流課)

「阿蘇ゆるっと博」を歌でPR

～”旅人ミュージシャンの阿蘇人(あそんもん)”進藤久明さん来局～

「阿蘇ゆるっと博」は、来年3月、九州新幹線全線開業にあわせて、阿蘇くじゅうで開かれます。正式名称は「阿蘇カルデラツーリズム博覧会」。

みなさん、博覧会といえば上海万博のような広い会場にパピリオンが点々とちらばるようなイメージを描かれるのではないのでしょうか。「阿蘇ゆるっと博」には、パピリオンの建物はありません。では、いったいどんな博覧会なのでしょう？「阿蘇ゆるっと博」は、阿蘇くじゅうの大フィールドを会場にして自然や農村、商店街、温泉街などをパピリオンに見立て、そこでの体験や人との交流で、ゆっくりのんびり楽しめるユニークで壮大な旅の博覧会です。

阿蘇の火口や地下水、原生林。阿蘇を知り尽くした案内人に連れられて、大地の鼓動を感じながら阿蘇で学ぶ「エコツーリズム」。阿蘇の自然との共存から生まれた数々の生活文化。収穫体験や家庭料理作りなど、農村や牧場で地元の暮らしを体験する「グリーンツーリズム」。いにしえから湧く温泉や歴史を刻む神社周

辺に特色ある”まち”を形成してきた阿蘇。商店街や温泉街の人たちが案内人となって人情深い地元の人々との交流で”まち”の魅力を味わう「タウンツーリズム」。

阿蘇くじゅうの広大なフィールドで様々なコンテンツを、訪れる人と迎える人が自由に組み合わせて作る、あなただけの旅づくりです。

そんな「阿蘇ゆるっと博」を広く宣伝する”旅人ミュージシャン”進藤久明さんが九州運輸局にお目見えになりました。

進藤さんは、南阿蘇村在住の”阿蘇人(あそんもん)”シンガーで「阿蘇ゆるっと博」を各地のテレビやラジオ局、タウン情報誌、旅行代理店などを訪問して宣伝する「宣伝課長」。主に山陽新幹線沿線地区をギターとポスター、チラシを抱え、エコ宣伝カー「ゆるっと号」での一人旅です。

8月27日に阿蘇神社前を出発しておよそ1ヶ月。阿蘇～福岡～山口～広島～岡山～姫路～神戸～大阪～広島～大分、途中、広島で緊急入院するなどのハプニングを乗り越え、各地でテレビやラジオ番組に出演してPRしています。中でも、大阪では太平サブローさんやハイヒールモモコさん、ロザンのお二人などが出演する大人気番組「ちちんぷいぷい」にも生出演して「阿蘇ゆるっと博」をPRされました。

「どこにお邪魔しても、みなさん興味を持って阿蘇の話を聞いてくださる。」

「自然、温泉、癒し、パワースポット、噴火など阿蘇のイメージは様々なようですが、どこへ行っても必ず皆さんから阿蘇へ行ってみたい、また阿蘇に行きたいという言葉をいただいて「阿蘇ゆるっと博」成功を予感しました。」と熱く語る進藤さん。

この紙面で生粋の”阿蘇人”の阿蘇弁をお伝えできないのが残念です。

2011年春、「阿蘇ゆるっと博」で、あなただけの”ゆるっと”した旅しませんか？

進藤さんの九州運輸局訪問の様子は、以下のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_99_4.pdf

(企画観光部 観光地域振興課)

「環黄海港湾物流経済フォーラム」の開催！

環黄海地域は成長著しい東アジアの中核に位置しており、中国・韓国では、東アジアにおける拠点(ハブ化)を睨んだ戦略的な取組が中央・地方政府レベル主導で積極的に進められています。

このフォーラムでは、日中韓それぞれの政府関係者、港湾整備者及び利用者(荷主企業等)が一堂に会して、各国の流通・港湾物流に関する国家レベルの戦略・最新動向を入手しつつ、第2部では、九州が今後目指すべき方向性について、パネルディスカッション(モデレーター：北九州市立大学名誉教授 井原健雄氏)を通して議論を深めます。

また、第1部では、日中韓物流大臣会合の実務者である「国土交通省政策統括官付参事官(物流政策)国際物流政策企画官 森 弘継氏」の講演が予定されています。

【開催日時】平成22年10月14日(木) 8:00~11:45

【開催場所】リーガロイヤルホテル小倉

【参加申込】以下のURL(開催案内)からお申し込み下さい。

(定員200名。参加無料)

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/pamph99.pdf

(交通環境部 物流課)

定例記者会見を開催しました

九州運輸局は、9月27日(月)に平成22年度第3回定例記者会見を開催しました。会見項目は、次のとおりです。

1.各地で地域公共交通の実証運行などの取組みがスタートします！！

～地域公共交通活性化・再生総合事業を活用した主な取組みをまとめました～

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0927-kikaku1.pdf>

2.「九州における今後の交通のあり方に関する検討会(第3回)」を開催しま

す～宮崎県で地域公共交通をテーマに開催します～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0927-kikaku2.pdf>

3. 第2回「観光立国の実現に向けた九州官民協議会」を開催します！
～九州の官民が一体となって観光立国に取り組みます～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0927-kokusai1.pdf>

4. 『観光カリスマ』×『農の実践者』～「観光」と「農」の連携
～『観光カリスマ塾』inおおいた

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0927-kankou2.pdf>

5. 「家族の時間づくりプロジェクト」
～九州では福岡市立博多小学校で10月に実施します～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0927-kankou1.pdf>

6. 毎年10月は「九州・レイルマンス」です。
～今年も鉄軌道会社のイベントが盛りだくさん～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0927-keikaku.pdf>

(総務部 広報対策官)

3 国土交通省からのお知らせ情報

広報誌「国土交通」10・11月号発行！

鉄道は今、環境に優しい乗り物として、また、経済の活性剤としても非常に期待されています。

日本では、開業当時の1964年「青いひかりの超特急、時速250キロ」と歌われた新幹線が、2011年「時速320キロ」で走行します。そして、まもなく北は本州最北端の青森から南は鹿児島まで全線が開通します。

一方で、アジアをはじめとした世界各国では、総延長1万3700キロの高速鉄道計画が立ち上がっています。

特集では、「鉄道先進国・日本」と題し、高い安全性と高速技術の結晶“SHINKANSEN”を世界中に輸出するために官民一体となった“チーム・ジャパン”の取り組み

みと、東北新幹線延伸を前に活気づく青森県及び新青森駅を紹介しています。

本誌は、国土交通省が国民のみなさまに「お伝えしたいこと」だけでなく、みなさまが「知りたい」ことを的確にお伝えするコミュニケーションツールであると考えております。ぜひご一読いただき、ご意見・ご感想を頂ければ幸いです。

広報誌「国土交通」10・11月号

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_001101.html

【編集部より】

編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内等、地域の情報を募集しています。お気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html